

アライプロバンスが新物流施設

千葉・浦安に
10月完成

アライプロバンス(東京都墨田区、新井嘉喜雄社長)は、千葉県浦安市の同社工場跡地に最大4社が入居可能なマルチテナント型物流施設「アライプロバンス浦安」を10月に完成する。4階建ての鉄骨造で敷地面積1万4878平方メートル、延べ床面積は3万4567平方メートルで総投資額は約50億円(土地を除く)。

首都高速湾岸線「浦安IC」から約3キロ

で、前面の道路幅員は約22メートルで大型トレーラーも対応可能。1階の床耐荷重は1平方メートルあたり2・0トン、倉庫天井高5・5メートル以上を確保した。

同社は1903年に金属加工業者として創業。石油掘削機器の製造など事業転換してきたが、2016年に製造事業から撤退。20年に社名変更し、総合不動産業に転換した。新井太郎専務は「創業から引き継ぐチャレンジ精神を絶やすことなく、時代のニーズに合った事業を展開していく」としている。